

## 平成 28 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名称	浜田市三隅B & G海洋センター	
指定管理者	名称	公益財団法人浜田市教育文化振興事業団
	代表者	理事長 竹中 弘忠
	住所	浜田市黒川町 4175 番地
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、事業報告書及び決算報告書、実地確認、指定管理者へのヒアリング等を実施しました。</p> <p>労働条件に関しては、労働条件チェックリストに沿って、事業場に整備されている書類を確認し、コメントしました。</p>	
担当部署 (問合せ先)	部署名	教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興係
	電話番号	0855-25-9721
	E-mail	manabi@city.hamada.lg.jp

### ■ モニタリングの総合コメント

運営管理状態について、指定管理者は、多種多様な施設を一元的に管理しており、利用方法についても、ホームページ・CATV や他の体育施設とのネットワークを構築し紹介するなど、市内外の利用者増加に繋がるよう努めています。

平成 28 年度の収支状況も、黒字決算となりました。戻入前の収支差引は 56,027 円となり、そのうち 6 割 (33,617 円) を市に戻入し、最終的な収支差引額は、22,410 円となっています。経費管理も適正に実施されていると判断しました。

オリンピック競泳女子元日本代表の千葉すずさんと本施設のウォーターセーフティアドバイザーとして契約し、「親子・家族の絆の推進」「青少年の健全育成や海洋性レクリエーションの普及と推進」の活動に努めています。また、市が推進する「Hamada マリン郷育プロジェクト」に参画し、カヌー出前講座を行う等自然体験活動も開催しました。

さらに、平成 27 年度から新たに公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド (B&G) 財団が募集した「PR 映像の部」で、2 年連続で「優秀賞」に選ばれました。

上記のような事業実施が施設の活動を市内外へ周知することとなり、ひいては利用者の増加につながっています。

施設への意見も、直接利用者から指定管理者へ伝えられていることから、双方で良好な関係が構築されております。

以上のことから総合的に判断し「良好」と評価します。

### ■ 今後の業務改善に向けた考え方

平日昼間の利用者数が増加傾向ですが、更なる利用促進の取組が求められます。

自主事業は、昨年度も実施されたフォークダンス、カヌー、スノーボード教室は小学生から中学生が集まり好評で、利用人数及び受講料も増加しております。今後

は、好調な事業とは別に施設の特性を活用した事業展開の検討が必要です。

昨年度指摘したホームページの更なる充実について、現在募集中のイベントが掲載されていない点等、掲載内容の更新を含めたホームページの活用について改善がされていません。ホームページの管理を行っていただくよう再度、要望しました。

昨年度指摘しました、事務室への緊急連絡網や体育館・艇庫への利用者心得は掲示され、改善されていました。

## ■個別評価

### I 基本的な考え方

#### ① 目的、公平性、効果等への所見

海洋性スポーツ・レクリエーション等の振興を図り、もって市民の心身の健全な発展に寄与するため、条例、規則、協定書等に基づいた適切な管理運営が行われています。

利用団体（文化団体、グループ・サークル、学校関係）からの利用希望に対する施設利用許可は規程どおりに運用され、公平・平等に提供されていました。

また、市内外の各種の海洋性スポーツのイベント等にインストラクターとして協力し、海洋性スポーツ・レクリエーションの指導及び普及にも努めていました。

なお、自主事業においては、フォークダンス、幼児フロアリズム、カヌー、スキー及びスノーボード教室を開催し、昨年度以上の利用を得られ地域の教育・文化・スポーツの振興に一定の成果があったものと判断しました。

これらの事業展開は、B&G 財団の目指す“青少年の健全育成”地域住民の“心とからだの健康づくり”を担うものであり、その効果を十分に期待できるものであることから、今後も継続していく必要性があります。

### II 業務内容

#### ① 事業への具体的取り組み方について

市民のスポーツ振興のために、施設の維持管理業務や自主事業を事業計画に沿って適切に実施されていました。

また、市内で唯一の海洋性スポーツ・レクリエーション等の振興を図る施設として、青少年を対象にした海洋性スポーツ・レクリエーション事業を軸にした実践活動、海事知識の普及、三隅海洋クラブ員の育成に努めていました。

自主事業として、引き続き千葉すずさんと締結したウォーターセーフティアドバイザー契約により、施設の取組企画と海洋教育をミックスした事業を実施しています。

総合型スポーツクラブであるみすみスポーツクラブの拠点施設として、会員確保のため、スポーツ吹矢を中心とした事業展開を行い、日本スポーツ吹矢協会いわみ三隅支部を設立し、公民館と連携した地域スポーツの普及・推進も実施しています。

#### ② 施設の運営体制や組織について

【職員数について】

<p>嘱託職員1人、夜間パート職員2人（※アクアみすみ兼務職員1人）</p> <p>運営に支障が出ない体制です。通常は1人で業務を行っているため、引き続き正確な引継ぎを実施しトラブルのない運営が求められます。</p> <p>労働条件に関しては、概ね適正に処理されていきました。就業規則は9人以下のため作成・届出の義務はありませんが、公益財団法人浜田市教育文化振興事業団の就業規則を適用されていることを確認しました。また、賃金台帳、労働者名簿を事業場へ配置すること、36協定の締結及び労働基準監督署への届出が必要であること、雇入れ時の健康診断の実施について指示しました。</p>
<p><b>③ 適切な事務や経理について</b></p> <p>施設の利用関係事務は、例規に沿って適正に処理されていきました。文書も利用申請・利用料収入・減免実績等書類が適正に保管されていきました。</p> <p>なお、経理関係事務についても、指定管理者の組織内に担当者を設け、公認会計士の指導の下で適正に処理され、施設使用料や自主事業収入についても、適正に処理されていきました。</p>
<p><b>④ 安全管理、情報管理、緊急時等の対応について</b></p> <p>(1) 安全管理対応について</p> <p>危機管理マニュアルが作成され、AED講習、避難訓練を実施しています。イベントの開催前には現地で指導員研修の実施をされています。イベント実施時は参加者の安全を確保するための指導を行い、安全に事業を実施する体制を整えています。昨年度指示した事務室への緊急連絡網掲示も改善されました。</p> <p>(2) 情報管理対応について</p> <p>浜田市個人情報条例に基づき適切に管理されていきました。</p> <p>(3) 緊急時等の対応について</p> <p>危機管理マニュアルに基づき、対応しています。海辺のイベント時には、海上保安部へ予め申請し、対応しています。</p>
<p><b>⑤ その他業務内容について</b></p> <p>利用者が安全な環境の中で利用できるように、職員全員が巡回及び日常、定期点検による安全確保と不良箇所の早期発見・修繕に努め、市民の健康づくり・憩いの場としての施設管理に努めていきました。</p> <p>また、光熱水費の削減のため職員全員で取り組み、施設利用者の理解と協力が得られていることを確認しました。</p>

※「施設概要及び実績報告書」は別紙のとおり

〔別紙〕

## 施設概要及び実績報告書

### 1 施設概要

施設名	浜田市三隅B & G海洋センター	
所在地	浜田市三隅町西河内 1240 番地 1	
開設年月	昭和 57 年 3 月	
設置条例	浜田市三隅B & G海洋センター条例	
設置目的	海洋性スポーツ・レクリエーション等の振興を図り、もって市民の心身の健全な発展に寄与するため。	
施設の概要	敷地面積	3,005.05 m <sup>2</sup>
	延床面積	1,302.25 m <sup>2</sup>
	施設内容	体育館、艇庫、事務室、ミーティングルーム、器具庫、ホール、トイレ、男女更衣室・シャワー室、機械室等
	事業内容	<p>B&amp;G 財団から無償譲渡された施設の譲渡契約 (B&amp;G プラン) に基づき、指導員を配置し、主として青少年を対象に、海洋性スポーツ・レクリエーション事業を軸として次の業務を行います。</p> <p>(1) 海洋センターを利用して行うスポーツレクリエーションの指導に関する業務</p> <p>(2) 海洋性スポーツレクリエーションの提供と活動の指導に関する業務</p> <p>(3) 海洋センター利用の促進に関する業務</p> <p>(4) 海洋スポーツ及び陸上スポーツレクリエーションの提供と指導に関する業務</p> <p>(5) その他設置目的を達成するために必要な業務</p>

### 2 運営実績

項目	H27 実績	H28 計画	H28 実績
開館日数	309 日	306 日	306 日
開館時間	体育館	9:00～21:00	9:00～21:00
	艇庫	9:00～日没前 2 時間	9:00～日没前 2 時間

### 3 利用実績

項目	H27 実績	H28 計画	H28 実績
延べ利用者数	6,130 人	7,200 人	8,357 人
利用料金収入等	772,087 円	956,000 円	1,003,199 円

#### 4 収支実績

(単位：円)

##### 収入

項目	H27 実績	H28 計画	H28 実績
利用料金収入	356,087	330,000	348,949
指定管理料	8,921,521	9,044,000	9,010,383
自主事業収入	416,000	626,000	654,250
雑入	0	0	0
<b>収入計 (A)</b>	<b>9,693,608</b>	<b>10,000,000</b>	<b>10,013,582</b>

##### 支出

項目	H27 実績	H28 計画	H28 実績
<b>人件費</b>	<b>6,138,784</b>	<b>6,779,000</b>	<b>7,083,289</b>
給料手当	2,471,072	2,537,000	2,671,962
賃金	3,088,603	3,541,000	3,703,110
福利厚生費	579,109	701,000	708,217
<b>管理費</b>	<b>2,950,235</b>	<b>2,643,000</b>	<b>2,393,113</b>
旅費交通費	761,071	410,000	273,561
消耗品費	151,386	150,000	199,474
施設修繕費	4,644	150,000	7,560
燃料費	37,016	45,000	39,520
印刷製本費	0	50,000	0
薬剤費	0	14,000	0
光熱水費	590,190	556,000	584,898
通信運搬費	99,711	102,000	103,238
損害保険料	149,760	176,000	144,750
手数料	103,279	82,000	68,135
委託費	235,692	266,000	275,652
使用料及び賃借料	468,241	300,000	386,210
負担金	66,000	65,000	61,400
租税公課費	246,830	247,000	248,715
雑費	36,415	30,000	0
<b>自主事業費</b>	<b>522,937</b>	<b>578,000</b>	<b>514,770</b>
報償費	80,000	104,000	80,000
旅費交通費	106,553	115,000	93,700
消耗品費	14,484	15,000	0
損害保険料	7,850	25,000	14,270
使用料及び賃借料	135,850	140,000	100,600
委託費	178,200	179,000	226,200
<b>支出計 (B)</b>	<b>9,611,956</b>	<b>10,000,000</b>	<b>9,991,172</b>

収支差引 (A-B)	81,652	0	22,410
------------	--------	---	--------